

ボケ病(異型細胞性鰓病)

病原体:DNAウイルス

アユポックスウイルス(PaPV; Plecoglossus altivelis Poxvirus)

ポックスウイルス科 属は未分類

宿主:アユ

区分	手法名 (文献)	プライマー		反応温度条件	増幅産物 bp	備考	推奨度
		名称	配列(5'-3')				
PCR	BOKE30-F/BOKE30-R (渡邊ら. 2007)	BOKE30-F	CGATATCATATCTGTGATCG	95°C2分→(95°C15秒、57°C30秒、72°C30秒)×35サイクル→72°C3分	302	魚類防疫技術書シリーズ(日本水産資源保護協会)や野生アユのPaPV検査(Nakayama et al., 2016)においてこのプライマーセットが用いられている。他のポックスウイルスと比較した場合の特異性は不明。	-
		BOKE30-R	AATGTTGATGTGTCCAGGAT				
PCR	BOKE30-F/BOKE30-R (渡邊ら. 2007)	BOKE30-F	CGATATCATATCTGTGATCG	95°C2分→(95°C15秒、56°C30秒、72°C30秒)×40サイクル→72°C3分	302	ここに記載した反応温度条件は増養殖研究所で採用しているものである。防疫技術書シリーズに記載されている反応温度条件では増幅できないケースがあったため、アニーリングの温度を1°C下げ、サイクル数を5サイクル増やしている。	☆☆
		BOKE30-R	AATGTTGATGTGTCCAGGAT				

文献

渡邊房子・福田穎穂・渡辺裕介(2007),アユの「ボケ病」に関する研究-ポックス様ウイルス粒子について. 平成 19 年日本水産学会春季大会講演要旨集, p221